

編集後記

例年のことながら、年度末は過密スケジュールとなり、猫の手も借りたい有様です。今年度の報告、来年度の申請、それから報告会、研究会と目白押しで、締め切りに追われる日々です。(この編集後記の原稿も、締め切り日を数日過ぎてなお執筆中です。)

一方、大学では、年度末のイベントとして、卒業・修了がやってきます。限られた時間ですが、それぞれが研究に取り組み、研究成果を論文にまとめることは、彼らの将来において有益な経験となることでしょう。また、その成果は、研究室の重要な資産となり、研究室に受け継がれていくことが必要です。ここでは、引き継ぎに問題があった場合でも、指導教官の存在により、次の世代に資産はほぼ問題なく継承されています。

最近、シミュレーション研究について、この資産の継承に関してよく話題となることがあります。かつてシミュレーション研究に用いられてきたプログラムは、その構造が簡単かつ明瞭であったため、新しい研究に対応できるよう既存のプログラムを利用することが比較的簡単にできました。また、新たな研究のために、新たなプログラムを最初から開発することも、ごく普通に行われてきました。

現在、シミュレーション研究も進歩し、物理モデルとして相当なレベルのシミュレーションが可能となってきてい

ます。また今後、ますますプログラムが高度化および複雑化することと思われます。その場合、そのプログラムを実行することは、何とか可能であっても、それを他のプログラムの一部として利用することは、プログラムの内容をある程度理解する必要があり、年オーダーの時間を要する作業となる場合も予想されます。特に、その開発者との連絡が困難な場合は、新たに開発すると同等な努力が必要となり、人的資源の問題から不可能となる場合も発生するかもしれません。この場合、かつての状態から進むことができず、ついには、かつて可能であった計算が、将来において不可能となることが起こるかもしれません(研究の退歩?)。すなわち、実行可能なプログラムを所有しているだけでなく、新たな開発に利用できる形で資産を維持できるかどうか、今後のシミュレーション研究の発展において重要な課題の一つになると考えられます。

ムーアの法則が示すように、計算機の計算能力の進歩は、プログラム開発を行う我々の進歩に比べ、非常に早い速度で進んでいます。この速度のギャップが、ますます問題を深刻化するかもしれません。これを解決するためにはどうすればよいのでしょうか? 少なくとも、本学会誌が日本語雑誌という利点を生かして、この資産の継承の場として、広く活用されることを期待したいところです。

(村上定義)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦	藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	榎戸 武揚 (広報委員長)	岡野 邦彦	尾崎 章 (財務委員長)	田中 和夫 (プログラム委員長)		
	際本 泰士	佐藤浩之助	永見 正幸	堀岡 一彦 (広告委員長)		
	田辺 哲朗	長 照二 (出版委員長)				
	二宮 博正	畠山 力三				
監 事	松岡 啓介 (企画委員長)	吉田 善章 (編集委員長)				
	長谷川 満	藤山 寛				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (原研), 田中雅慶 (核融合研), 西村博明 (阪大), 福山 淳 (京大), 藤山 寛 (長崎大)
 編集委員 相澤正満 (日大量科研), 安藤利得 (金沢大院理), 井深真治 (東工大院理工), 岩前 敦 (京大院工), 江角直道 (長野高専), 遠藤琢磨 (広大院工), 粕谷俊郎 (同志社大工), 菅野龍太郎 (核融合研), 近藤公伯 (阪大院工), 榎田 創 (産総研), 篠原俊二郎 (九大院総理工), 清水勝宏 (原研那珂), 下妻 隆 (核融合研), 鈴木 哲 (原研那珂), 鈴木千尋 (核融合研), 高杉恵一 (日大量子研), 力石浩孝 (核融合研), 波多江仰紀 (原研那珂), 服部邦彦 (東北大院工), 林 康明 (京都工繊大), 檜垣浩之 (筑波大プラズマ), 松本和憲 (富山県大工), 南 貴司 (核融合研), 村上定義 (京大院工), 森下和功 (京大エネ理工研), 山本 靖 (京大エネ理工研), 湯上 登 (宇都宮大院工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第81巻第3号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: http://www.jspf.or.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2005年(平成17年)3月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。